

## 公益財団法人日本バレーボール協会 2019 年度定時評議員会 概要

1 日 時:2019 年 6 月 18 日(火)14:00～16:30

2 会 場:エステック情報ビル A 会議室

3 出席者:

評議員総数 25 名 出席評議員 22 名

監事総数 3 名 出席監事 3 名

4 議 長:山本章雄

5 決議事項

第 1 号議案 第 9 期(2018 年度)計算書類等承認の件

第 2 号議案 理事選任の件

(1) 第 9 期(2018 年度)計算書類等承認の件

第 9 期(2018 年度)決算について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

### 【監査報告】

公益財団法人日本バレーボール協会の第 9 期(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)の業務及び財産の状況等について監査したところ、適正かつ公正に処理されており、その内容が事実であることを認める。

また、理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められない。

### 【決算の説明】

第 9 期(2018 年度)は当初、728 百万円の赤字予算という厳しい状況で始まったが、215 百万円の収益増加と 297 百万円の費用減少により、512 百万円の収支改善を図り、税引き後の最終損失は 212 百万円で当期の決算を終了することとなった。

収入予算に対する増加の主要因は収入増へのさまざまな取組みの結果、入場料以外のほとんどの項目で予算を上回る結果となったことによる。一方で、バレーボールネーションズリーグ男女大会、女子世界選手権大会などの入場料収益は予算に対して 81 百万円下回ったが、当初予算に組み込まれていなかった日韓親善試合の開催で 53 百万円の収益を上げたことにより、81 百万円のマイナス幅を圧縮することができた。

支出については、全体として予算を 297 百万円下回った。ハイパフォーマンス、ビーチで予算を上回る支出が発生したが、国際大会での大幅な費用削減などもあり、全体として大幅な費用削減となった。

なお、公益認定基準の三要件(財務三基準:「①公益目的事業比率」、「②収支相償」、「③遊休財産額保有制限」)についての報告があり、「②収支相償」については現時点では要件を満たしていないが、その対応策について内閣府、監査法人と協議中であることが報告された。

なお、評議員からは下記質問があった。

・協賛金収入はどのくらい予算を上回ったのか。

→当初の予算より 39 百万円上回った。

・国際大会の大会経費の大幅削減との事で無理はなかったのか。

→大会経費に関しては、大会に関わる旅費交通費の削減や大会会場の費用削減など出来る範囲での地道な努力の積み重ねが今回の削減に繋がったと認識している。

2018 年度の決算は、予算と比較して 500 百万円の底上げが図れたが、2019 年度以降も大変厳しい状況であることには変わりなく、更なる取り組みで、収支構造の改善を図らなくてはならない。

※ 第 9 期(2018 年度)計算書類等は、JVA ホームページに掲載済み。

## (2) 理事選任の件

役員候補者推薦委員会の議長より審議の経過説明があった。

JVA の体制強化を図るには、業務執行理事会を活性化し、確固たるものにする必要がある。会長・専務理事を含めた業務執行理事が現在 4 名と少ないことから、体制を充実させるためにも職員からの登用も含め、6 名を業務執行理事候補者とした。

また、V リーグ機構が加盟団体に加入したことを受けて、これから更なる連携を深めていくためにも、V リーグ機構からの代表者も理事に迎えるべきとの結論に至り、この時点で 7 名の理事候補者を決定した。

それ以外の 13 名については、カテゴリー毎に人選を行い、これからの 2 年間の JVA のあるべき役員体制を軸に話しを進めた。選手の強化や競技の普及については、JVA の普遍的な課題ではあるが、今後の重要なテーマは、「収益力固め」、「財務体質の改善」、「実行性のある体罰・暴力の撲滅の施策の展開」等であることから、コンプライアンスやスポーツビジネスに精通している方や、スポンサー獲得の観点からアドバイス・サポートができる方の人選に重きを置き、候補者の絞り込みを行った。結果、役員候補者推薦委員 7 名の総意により今回の理事候補者 20 名について理事会に推薦

することが決定された。

[理事候補者の構成]

- 13名再任(内4期目が2名、3期目が2名、2期目が9名)
- 7名新任
- 女性比率25%(20名中5名)

現在、女性理事が7名のため、2名減少となり、スポーツ庁のガバナンスコードの目標値である40%はクリアできなかった。女性比率を高めて行くことが今後の課題である。

補足として、嶋岡会長が会長を続投することになった場合の方針とメンバーに期待する役割の説明が行われた。

- ・理事全員による目標共有、問題解決ができる理事会運営を目指していく。特に業務執行理事には広い視野をもって、協会の運営に当たっていただき、業務執行理事会の活性化を図りたい。また、事務局職員とのコミュニケーションを密に取ることで、事務局と理事会の架け橋となる役割を期待している。
- ・東京2020大会でより良い成果を上げ、更には2024年のパリ五輪も見据えたアンダーエイジカテゴリーの強化も視野に入れ、最大限の強化支援を行う。
- ・中期経営計画を確実に実行し、大会経費の削減と収入増大に向けた財務改革に取り組んで行く。大会収入の増加、協賛金の獲得、グッズ販売など、従来からの事業運営にとらわれないことのない新ビジネスモデルの構築に向けて、理事からの大所高所からのアドバイスを受けながら、新組織として立ち上げた「新規事業企画部」にて施策を展開していきたい。また、同じく新組織である「体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部」や「加盟団体連携部」をしっかりと機能させていきたい。

質疑応答が終了した後、理事ならびに陪席の事務局員は一旦退席し、評議員だけの審議時間が設けられた。

その後、議長より挙手もしくは記名式投票、どちらの決議方法を用いるかの確認がとられ、満場一致にて、記名式投票とすることが決定した。

最終的に、理事候補者20名の賛否を諮ったところ下記の通りとなった。

【決議結果:理事に選任された19名】(五十音順、敬称略)

朝日健太郎、岡野貞彦、柏木斉、鍛冶良則、河本宏子、小柴滋、坂本友理、嶋岡健治  
須藤実和、高野和弘、高橋憲太郎、千葉智行、鳥羽賢二、原卓弘、原田宗彦、松下敬  
丸山由美、村上成司、山口香

なお、上記19名の理事の任期は2019年6月18日～2021年6月開催の定時評議員会の終結の時までとなる。

## 7 報告事項

### (1) 第9期(2018年度)事業報告について

第9期(2018年度の)事業報告が下記の通り行われた。

#### 1. 事業の概況

##### (1) 男女日本代表チーム・各カテゴリーの主な戦績

シニア男子	第18回アジア競技大会 5位
シニア女子	2018女子バレーボール世界選手権 6位
U-23女子	AVCカップ 準優勝
ジュニア男子	第19回アジアジュニア選手権大会(U-20)13位
ジュニア女子	第19回アジアジュニア選手権大会(U-19)優勝
ユース男子	第12回アジアユース選手権大会(U-18)優勝
ユース女子	第12回アジアユース選手権大会(U-17)優勝
ビーチ男子	ビーチバレーボール ワールドツアー2018 3 Star
高橋・石島ペア	17位
ビーチ女子	ビーチバレーボール ワールドツアー2018 3 Star
石井・村上ペア	3位

##### (2) 今年のトピックス

- ① 第18回女子世界選手権を8年ぶりに横浜、札幌、神戸、浜松、名古屋、大阪各地で開催。日本を含む24カ国が世界一を競い、セルビアが初優勝を果たした。
- ② ビーチワールドツアー(3 star レベル)をお台場で開催した。
- ③ 従来のワールドリーグ(男子)、ワールドグランプリ(女子)を統合し、バレーボールネーションズリーグ(Volleyball Nations League – VNL)と改称して第1回VNLを開催した。
- ④ 国際親善試合を十数年ぶりに船橋市で開催した。
- ⑤ 東京2020以後のスポーツ人気の後退傾向をふまえた2024年までの中期経営計画を策定した。

### (3) 決算について

今年度は過去最悪の 728 百万円の赤字予算という苦しい状況の中、中期経営計画に基づき収入の増加、費用の削減に取り組んだ。収入面では入場料は予算に達しなかったが、その他の収入項目で増収となった。費用面では、大会経費の削減などに取り組んだ結果予算より大幅に削減できた。その結果、収入は予算を 214 百万円上回る 2,833 百万円となり、費用は予算より 297 百万円減少の 3,049 百万円となり、税引き後の最終損失は 212 百万円となった。

中期経営計画を推進するための組織体制構築をおこない、2019 年 4 月 1 日付けで「新規事業企画部」、「加盟団体連携部」、「体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部」の 3 つの新たな部署を立ち上げると共に、インドアとビーチの国内・国際大会の運営を行う部署を統合し、大会運営事業本部の設置を行った。事務局職員に担当業務の兼務をさせることで、人材の有効活用を図っており、また、企業からの出向も含めた 5 名の人材の増強を行い、プロ人材の活用にも取り組んでいる。

※第 9 期(2018 年度)事業報告については、JVA ホームページに掲載済み。

以上をもって、議事の全ての審議及び報告を終了し、議長は 16:30 に閉会を宣した。